

2022
10月～3月



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大阪公立大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

ごあいさつ

生涯学習としての公開講座

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学は統合して大阪公立大学となりました。両大学の「知」が結集することで、より充実した公開講座をお届けできるようになると自負しています。目まぐるしく変わる現代社会のさまざまな現象や科学技術などの最新の情報をわかりやすく伝えるもの、また一方でそのような変化の中でも変わらない人間の本質を見究めようとするものなど、常に学問における「不易と流行」を意識しつつ、企画を考えていきたいと思っています。また本学では「学び」が継続できる環境を整えていく予定です。この公開講座は、まさに「生涯学習」への入口の役割を果たすことになります。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。



生涯学習センター長
西田 正宏

安心安全に受講していただくための対策とお願い



- ・ 常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・ **定員を半分以下に設定**し、座席間の距離を保っています。
- ・ 講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



- ・ ご来場の際及び受講中は**マスクを着用**してください。
- ・ 入場時に**検温と体調に関するアンケート**を実施します。
- ・ 発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・ 入室、退室時の**手指消毒**にご協力ください。
- ・ 会場では**人と人との距離の確保**にご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・ 受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・ 駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・ 受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・ 講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響等やむを得ない事情により、日程、講座内容、講座形式や会場を変更して開講する場合があります。

*** 本冊子の記載内容は8月1日時点の情報です。**

■公開講座一覧

Meet 学問に出会う 難易度★（初心者歓迎）

■	人類と感染症との戦い—国際感染症研究センターの挑戦—	P3					
開催日	10/8～12/24	定員	60名	受講料	5,000円（全6回分）	I-siteなんば	横断
■	ハンナ・アーレント『全体主義の起源』を読み解く	P4					
開催日	10/14～12/23	定員	60名	受講料	5,000円（全5回分）	I-siteなんば	人文
■	健康自己管理セミナー（身体のセルフコントロール）	P5					
開催日	10/14～2/3	定員	28名	受講料	5,000円（全6回分）	I-siteなんば	生活・健康
■	私たちの暮らしとお金を考える	P6					
開催日	10/11、10/18	定員	各60名	受講料	無料	文化交流センター	横断
■	ストレッチング＆ウォーキング	P7					
開催日	10/7～12/2	定員	40名	受講料	5,000円（全8回分）	中百舌鳥キャンパス	生活・健康
■	使える英語力が身につく英語学習法入門講座	P7					
開催日	10/22	定員	25名	受講料	2,000円（1回限り）	オンライン	人文
■	中国語初級者向けのICTを活用した中国語学習法（仮題）	P7					
開催日	3月（予定）	定員	受講料	※企画中	オンライン	人文	
■	ドイツリートとウィーン音楽文化	P8					
開催日	3/3～3/24	定員	60名	受講料	4,000円（全4回分）	I-siteなんば	人文
■	協創研究センター講座	P9					
開催日	10月～1月	定員	受講料	※講座ごとに異なります	I-siteなんば ほか	横断	
■	アカデミックカフェ	P10					
開催日	11月～3月	定員	各15名	受講料	無料	I-siteなんば	横断

Enrich 学問を深める 難易度★★（要基礎知識）～★★★★（専門職向け）

■ 学校コラボレーション講座Ⅱ（実践編）	P12			
開催日 10/7～1/20	定員 70名	受講料 10,000円（全5回分）	オンライン	人文
■ 臨床実践に生かす心理アセスメント	P13			
開催日 10/14～12/23	定員 24名	受講料 12,000円（全6回分）	I-siteなんば	人文
■ 毒性病理学基礎講座	P14			
開催日 1/14～2/18	定員 20名	受講料 10,000円（全6回分）	I-siteなんば	ライフサイエンス

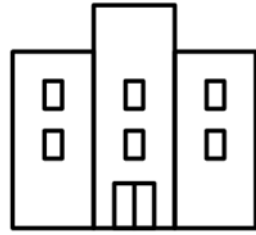
公開講座の会場

※地図は本冊子裏表紙をご覧ください。

公開講座のカテゴリー

※各講座のページ右上に表示しています。

人文（哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など）
社会（経営、経済、法学、政治、都市防災 など）
IT（情報、通信、人工知能 など）
理工（数学、自然科学、工学 など）
ライフサイエンス（生物、農学、獣医学 など）
生活・健康（医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など）
横断（分野横断）
その他



Meet

学問に出会う



協創研究センター講座

横断

人類と感染症との戦い—国際感染症研究センターの挑戦—

日時：10月8日(土)～12月24日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円

I-siteなんば

講義概要

新型コロナウイルス感染症の出現は、人類が太古の昔から悩まされてきた感染症の恐ろしさを再認識させました。本講座では、大阪公立大学の国際感染症研究センターの研究員が、感染症についてわかりやすく概説し、感染症の諸問題に対してどのような取り組みをしているかについてわかりやすく紹介します。

講義スケジュール



人類と感染症との戦いの歴史

第1回
10月8日(土)

中世ヨーロッパのペスト、天然痘やスペイン風邪等、人類は様々な感染症に悩まされてきました。一方、ワクチンの開発、抗生物質の発見により、人類は感染症に打ち勝つことができるのではと錯覚しました。そして今日……。人類と感染症との戦いの歴史について概説します。

講師：山崎 伸二（大阪公立大学 国際感染症研究センター 所長/獣医学研究科 教授）

次なるウイルス感染症対策に向けたウイルス探索

第2回
10月22日(土)

ヒトにおける新興感染症の多くは動物が保有するウイルスによって引き起こされてきました。しかし、私たちは動物のウイルスについて全く知らないと言っても過言ではありません。本講義では、ウイルスの基礎を概説するとともに、我々のウイルス探索に関する取り組みを紹介します。

講師：堀江 真行（大阪公立大学 獣医学研究科 教授）

植物を用いたワクチン抗原の発現とその利用の可能性

第3回
11月5日(土)

遺伝子組換え植物などを利用した植物工場での有用タンパク質生産技術が実用化されています。また、植物ウイルスの高い細胞内増殖性は植物を用いた有用タンパク質生産に利用されています。植物工場を利用したワクチン抗原の発現とその利用の可能性について概説します。

講師：望月 知史（大阪公立大学 農学研究科 准教授）

北宅 善昭（大阪公立大学 植物工場研究センター長/研究推進機構 特任教授）

感染拡大の原因から考える新しい感染対策の提案

第4回
11月19日(土)

感染症の拡大には、飛沫感染、エアロゾル感染、接触感染などの経路がありますが、それぞれの特性に合わせた対策を行うことが重要です。我々は新しい工学的な感染制御の手段として光触媒や紫外線の応用を検討しており、どのような場面で活用できるかをお話しします。

講師：秋吉 優史（大阪公立大学 工学研究科 准教授）

そもそも病気にならないまちづくり —都市の緑と住民の健康—

第5回
12月10日(土)

感染症は日常生活を変容させ、外出自粛や運動不足による健康状態の悪化も引き起こします。そもそも病気にならないためには何が重要なのでしょうか？今回は、まちの緑地を中心に都市環境が住民の健康状態に及ぼす影響を紹介します。

講師：大塚 芳嵩（大阪公立大学 農学研究科 助教）

新型コロナウイルス感染症が子ども家庭に及ぼす影響とその方策

第6回
12月24日(土)

世界中が新型コロナウイルス感染症によって激震しました。特に社会的に弱い立場である子ども、その家族にどんな影響をもたらしたのか、その実態は想像以上でした。厚生労働科学研究の結果から報告し、私たちはどんな社会を目指すべきか、ともに考えたいと思います。

講師：山野 則子（大阪公立大学 スクール・ソーシャルワーク評価支援研究所 所長/現代システム科学研究科 教授）



ハンナ・アーレント『全体主義の起源』を読み解く —ファシズムの新たな台頭—

人文

日時：10月14日(金)～12月23日(金) 15:00-16:30 各金曜日・全5回

定員：60名 受講料：5,000円（全5回分）

講師：前川 真行（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

I-siteなんば

講義概要

ハンナ・アーレントが、『全体主義の起源』を亡命先のアメリカで発表してから、すでに70年以上の歳月が経過しました。そして、いま、私たちの目の前に、ふたたび戦争と、警察国家的支配が、ゆっくりとその陰鬱な姿を現しつつあります。本講座では、彼女の経験、そしてその思考をたどりながら、現在の私たちの置かれた条件、その経験、そしてこの時代の「政治」の意味を、彼女とともに考えてみたいと思います。



講義スケジュール

第1回

10月14日(金)

はじめに

まずは、アーレントの後半生をたどりながら、彼女の思想を、私たちにとってはすでに「歴史」となったその経験とともに振り返ってみます。

第2回

10月28日(金)

反ユダヤ主義＝人種主義(Antisemitism)

アーレントにとって、反ユダヤ主義は、国民国家の没落、あるいは瓦解とともに、そして自由貿易主義（グローバル化）の拡大とともに記憶されています。そこから彼女にとっての共和国／共和主義の意味を考えてみます。

第3回

11月25日(金)

帝国主義 (Imperialism)

帝国主義もまた、国民国家、つまり政治的なものの解体であり、グローバル化の進行にほかなりません。「人権の喪失が起こるのは、通常人権として数えられる権利のどれかを失ったときではなく、人間が世界における足場を失ったときのみである。」

第4回

12月9日(金)

全体主義 (Totalitarianism)

あらゆる政治が解体したとき、「すべてが可能」となり、そこからまったく新しい統治／支配の形態があらわれます。暴政、専制、そして絶対君主政として名指されてきた、この「政治」の解体、あるいは共和国の崩壊を、20世紀はどのように経験したのでしょうか。

第5回

12月23日(金)

ファシズムの新たな顔 (The new face of fascism)

最終回は、みなさんとともに、「ポスト＝ファシズム」とも呼ばれる私たちの時代の「政治」、あるいはその「崩壊」について、考えてみたいと思います。



健康自己管理セミナー（身体のセルフコントロール）

生活・健康

日時：10月14日(金)～2月3日(金) 19:00-20:30 各金曜日・全6回

定員：28名 受講料：5,000円（全6回分）

講師：吉武 信二（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授）

I-siteなんば

講義概要

生涯自立した健康生活を実現するためには、日常での積極的な身体の自己管理（セルフコントロール）が重要です。今まで特に身体の不調が気にならなかった方も、加齢や生活習慣の変化から予期せぬ方向へ変わることがあります。できることならこれを上手くコントロールして、真の健康を維持したいですね。その対策は意外と身近なところであって、しかもご自身でできる有効な方法がいくつもあります。本講座では、健康やダイエットに関する誤った情報が氾濫している現状を踏まえ、科学的な根拠に基づいた正しい理論を解説し、日常生活の中で、ご自分の身体を上手くコントロールする方法を全6回の講座で解説します。

講義スケジュール



- | | |
|------------------|--|
| 第1回
10月14日(金) | 体脂肪と筋肉をセルフコントロールする方法
身体のメカニズムについて講義し、科学的な根拠に基づいた身体組成のコントロール方法を学習します。 |
| 第2回
11月11日(金) | 食習慣をセルフコントロールする方法
日常の食事メニュー、飲酒、喫煙が及ぼす健康への影響などについて解説します。 |
| 第3回
11月25日(金) | 運動習慣をセルフコントロールする方法
健康維持に効果的な運動の方法・種類・時間・タイミングなどについて解説します。 |
| 第4回
12月16日(金) | 体力（瞬発力・持久力）をセルフコントロールする方法
身体のトレーニング理論について解説し、身体運動能力が向上していくしくみについて学びます。また、個々人で高めたい体力を効率的に向上させる方法を検討します。 |
| 第5回
1月27日(金) | 回復力をセルフコントロールする方法
スポーツや日常生活で発生するコリ、筋肉疲労、怪我などについて、その原因としくみを解説し、できるだけ速やかに効率よく回復するための理論と方法を学びます。 |
| 第6回
2月3日(金) | 抵抗力をセルフコントロールする方法
様々な病気から身体を守っている免疫機能についてモデル図を用いて解説します。 |



文化交流センター・野村證券株式会社 共催講座 私たちの暮らしとお金を考える

横断

日時：10月11日(火)、18日(火) 18:30-20:00

定員：各60名 受講料：無料 ※各回ごとに申し込み

講師：松原 伸行

(野村證券株式会社梅田支店 ファイナンシャル・パートナー課 シニアインベストメントアドバイザー)

文化交流センター

私たちを取り巻く経済情勢は大きく変化しています。これからのお金・資産管理に必要とされる知見を各テーマで解説いたします。

講義スケジュール



10月11日(火)

投資って何？資産運用って必要？

人生100年時代に備えて、お金の健康を保つための知識を身につけましょう。

10月18日(火)

資産運用の基礎とマネープラン

分散投資と資産配分について、具体的に役立つ知識を身につけましょう。

* 講師は会場のスクリーンを通じて講演します。

* Webサイトからお申し込みのうえ、当日、文化交流センターにお越しください。



大阪駅前第2ビル





ストレッチング&ウォーキング

生活・健康

日時：10月7日(金)～12月2日(金) 10:30-11:30 各金曜日・全8回

定員：40名 受講料：5,000円(全8回分)

対象者：医師から運動制限の指示を受けていない方

講師：川端 悠(大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授)

中百舌鳥キャンパス

講義概要

加齢とともに下肢筋群や全身持久力が低下していきます。こういった問題を解決するための手段としてウォーキングが推奨されます。ウォーキングは速度を変えることで比較的安全に運動強度を調整できるため、いつもどおりのウォーキングと強度の高いウォーキングを交互に織り交ぜることで下肢筋力や全身持久力の向上が期待できます。本講座では、運動効果を向上させるためのストレッチングとウォーキングを組み合わせたハイブリッドエクササイズを皆さんと実施します。



使える英語力が身につく英語学習法入門講座

人文

日時：10月22日(土) 13:30-16:30

定員：25名 受講料：2,000円

講師：稲垣 スーチン(大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授)

オンライン

講義概要

英語ができるようになりたいと思っている人は多いと思いますが、具体的にどうすればいいのでしょうか？その答えは、英語習得プロセスに合った学習法を実践することです。本講座では、まず英語習得における「インプット→インテイク→アウトプット」の流れを紹介します。そして、このプロセスを促す学習法として、グレイディッド・リーダーを用いた多読やエッセーを使った音読を紹介し、これらの学習法を実体験していただきます。本講座が、受講生のみなさんの今後の英語学習に対するヒントになれば幸いです。



※下記の企画も進行中です。決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

中国語初級者向けの ICTを活用した中国語学習法(仮題)

人文

日時：2023年3月(予定)

講師：清原 文代(大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授)

オンライン





ドイツリートとウィーン音楽文化の世界を 歴史・文化的視点から対比してみる

人文

日時：3月3日(金)～3月24日(金) 18:30-20:00

定員：60名 受講料：4,000円

講師：中村直子（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）
児玉麻美（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）

開催中止

2022.11.22更新

I-siteなんば

講義概要

クラシック鑑賞、合唱や器楽演奏に関心をお持ちの方には、ドイツ・オーストリアの音楽に興味がある方も多いのではないのでしょうか。この講座ではドイツリートとウィーン音楽（ワルツ、オペレッタ）の世界を、音楽の方向からではなく、ドイツ語圏の歴史と文化に関する視点から読み解いてみたいと思います。

講義スケジュール



第1回
3月3日(金)

ドイツリートとウィーン音楽文化の紹介（概要）

暗く陰鬱な印象のドイツ・リートと、明るく軽やかなウィーン音楽の世界。こうした対比はなぜ生まれてきたのでしょうか？ 初回では、ドイツとオーストリアのそれぞれの音楽文化と、その違いについて、視聴覚資料を用いながら紹介します。

第2回
3月10日(金)

ドイツリートの世界

代表的なドイツリートの詩に用いられた詩人を紹介し、そこからドイツリートの世界の裏側に迫ります。例えば、〈ロマン主義〉とは何か？ 19世紀の詩人や作曲家たちの創作活動を困難にした社会状況とはどのようなものだったか？ 詩人ハインリヒ・ハイネの文学作品はなぜ多くの作曲家たちを魅了したのか？ などです。

第3回
3月17日(金)

ウィーン音楽文化の世界

ウィнна・ワルツ、オペレッタ、ウィーンフィルのニューイヤーコンサート等でお馴染みの華やかなウィーン音楽文化からは、「観客と一緒に楽しもう」という姿勢がはっきりと感じ取れます。第3回では、こうした傾向がどこから生まれ、どのように発展を遂げたのかについて考察します。

第4回
3月24日(金)

ドイツとウィーンにおける音楽文化の対比

第4回は総集編です。皆様からいただいた質問や、第1～3回で扱うことのできなかった楽曲などを紹介し、ドイツとオーストリアの音楽文化がそれぞれどのような特徴や背景を持つのか考えてみたいと思います。



協創研究センター講座

横断

開催月：2022年**10月**～2023年**1月** * 定員と受講料は、講座ごとに異なります。

大阪公立大学協創研究センターで行われている研究が、社会でどう活かされているのかをわかりやすく紹介します。

※8月時点の予定です。募集時に変更になることがあります。



現在の予定

10月8日(土)
～12月24日(土)
10:30-12:00

人類と感染症との戦い ―国際感染症研究センターの挑戦― (全6回)

講師：山崎 伸二（大阪公立大学 国際感染症研究センター 所長/獣医学研究科 教授）ほか
* 詳細は本冊子3ページをご覧ください。

I-siteなんば

10月8日(土)
13:00-16:10

スーパーシティ構想で変貌するOSAKAの未来社会図

講師：阿多 信吾（大阪公立大学 学長補佐/情報学研究科 教授）
落合 陽一（メディアアーティスト） ほか

杉本キャンパス

2023年
1月27日(金)
19:00-20:30

全固体電池実現に向けた材料開発

講師：林 晃敏（大阪公立大学 工学研究科 教授）

I-siteなんば

杉本キャンパス（大阪市住吉区杉本3-3-138）

- JR阪和線「杉本町」下車、東口すぐ
- 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

※I-siteなんばの地図は本冊子裏表紙をご覧ください。





まちライブラリー@大阪公立大学 アカデミックカフェ

横断

開催月：2022年**11月**～2023年**3月**

定員：各15名 参加費：無料 ※各回ごとに申し込み

I-siteなんば

「まちと人」「人と人」とをつなぐ新しいコミュニティの創造をめざしている「まちライブラリー@大阪公立大学」で、本学教員が、通常の講演や授業とは雰囲気を変えて自身の研究やライフワークを紹介するイベントです。

現在の予定

※8月時点の予定です。募集時に変更になることがあります。
※下記以外の企画も進行中です。決定しましたらWebサイトでご案内いたします。



11月12日(土)
13:30-15:30

方言事典をつくる

講師：西尾純二（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授）

11月26日(土)
13:30-15:30

ビタミンDを味方につけて健康に！

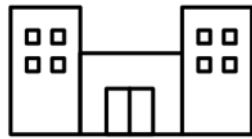
講師：栗原晶子（大阪公立大学 生活科学研究科 教授）



会場では新型コロナウイルス
感染防止対策を実施しています



非接触型のモニターで
検温を実施しています



Enrich

学問を深める



学校コラボレーション講座Ⅱ（実践編）

人文

難易度★★★（専門職向け）

日時：10月7日(金)～1月20日(金) 18:45-20:45 各金曜日・全5回

対象者：実務に活かせる方

（現任SSW、学校関係者、教師、社会福祉士、精神保健福祉士、SSW希望者など）

定員：70名 受講料：10,000円（全5回分）

オンライン

講義概要

子どもの貧困、虐待事件、少年事件でSSWがクローズアップされるとともに、チーム学校が大きく取り上げられて、専門職が学校でチームとして動くことが求められ、専門職の人材育成が急務になっています。また、デジタル庁が創設され、こども家庭庁と関連し、国はようやく欧米で当たり前になっているデータを活用した実践に着目し始めました。まさに私たちが開発してきた効果的なSSW事業プログラム、YOSS（スクリーニングシステム）も文科省、内閣府に取り上げられ、チーム学校や学校プラットフォームへの発展をもたらしてきました。

SSWに必要な知識を学ぶだけではなく、この政策的変化をもたらすプログラムを体験しませんか？毎回ワークショップ方式を取り入れ、データに基づいた実践的学びの場を提供します。エビデンスに基づく実践力をつけたい方、ぜひこの機会にお集まりください。

講義スケジュール



第1回
10月7日(金)

効果的なSSW事業プログラムの実際

講師：山野 則子（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授）

第2回
10月21日(金)

効果的な教育委員会の動き

講師：中野 澄（大阪成蹊短期大学 グローバルコミュニケーション学科 教授）

第3回
11月18日(金)

チーム学校：いじめ問題におけるスクールロイヤーの視点

講師：渡邊 徹（弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士、大阪府スクールロイヤー）

第4回
12月2日(金)

学校プラットフォーム：地域を作るSSWの実際

講師：久山 藍子（大阪人間科学大学 非常勤講師、元堺市スクールソーシャルワーカー）

第5回
1月20日(金)

チーム学校：スクリーニング会議の実際

講師：木下 昌美（大阪公立大学 現代システム科学研究科 プロジェクトコーディネーター）
山野 則子（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授）



公認心理師のための心理アセスメント入門 臨床実践に生かす心理アセスメント

人文

難易度★★★★（専門職向け）

日時：10月14日(金)～12月23日(金) 19:00-20:45 各金曜日・全6回

対象者：公認心理師資格を取得した方または資格試験を受ける予定の方

定員：24名 受講料：12,000円（全6回分）

I-siteなんば

講義概要

心理職の初の国家資格として導入された公認心理師は、学校、医療現場、司法領域、企業、児童福祉分野などの多様な領域で、臨床心理学的な視点からケースを見立て、他の専門職に助言を与えつつ、チームとして支援することが求められています。

本講座では、公認心理師資格を取得した直後の方あるいは取得を目指す方を対象として、心理アセスメントを心理臨床実践に生かす視点を身につけるとともに、代表的な心理アセスメントの基本的な知識や技法を習得することを目的に、6回のシリーズを構成しました。描画法などの回では、実際にアセスメントを実施していただきます。



講義スケジュール

- | | |
|------------------|--|
| 第1回
10月14日(金) | 心理アセスメントの実施の仕方
講師：川原 稔久（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授） |
| 第2回
10月28日(金) | 描画法①－バウムテスト
講師：片畑 真由美（大阪公立大学 現代システム科学研究科 准教授） |
| 第3回
11月11日(金) | 子どもへの心理アセスメント－WISCを用いて
講師：ホフマン スティーブン（立命館大学 心理教育相談センター 専門相談員） |
| 第4回
11月25日(金) | 描画法②－風景構成法
講師：高橋 幸治（大阪公立大学 現代システム科学研究科 准教授） |
| 第5回
12月9日(金) | ロールシャハ・テスト概論
講師：川部 哲也（大阪公立大学 現代システム科学研究科 准教授） |
| 第6回
12月23日(金) | 精神医学的アセスメントとケース・マネジメント
講師：総田 純次（大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授） |



毒性病理学基礎講座

ライフ
サイエンス

難易度★★（要基礎知識）

日時：1月14日(土)～2月18日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：20名 受講料：10,000円（全6回分）

講師：山手 丈至（大阪府立大学 名誉教授・獣医師）

I-siteなんば

講義概要

生活環境に存在する、あるいは私たちが作り出すあらゆる化学物質は身体に負の影響（毒作用）を及ぼします。毒性病理学は、起こり得るそのようなリスクを形態学的手法により探究し、その情報を社会に提供することで、安全・安心で豊かな地球の営みを構築することに貢献しています。医薬品や農薬の開発に必須である毒性病理学の学術的な背景や意義、そして肝臓、腎臓さらに神経系組織などの主要臓器に生じる重要な毒性変化について解説します。初心者向け毒性病理学講座です。



講義スケジュール

第1回 1月14日(土)	毒性病理学入門 「病とは？ 病の成り立ちとは？」ー病理学の概念を説明するとともに、歴史的背景に基づいた毒性病理学の学術的意義や、化学物質に起因する細胞傷害の基本的メカニズムについて解説します。
第2回 1月21日(土)	肝臓の毒性病理（その1） 化学物質の多くが肝臓で代謝されることから、肝臓は毒性変化が最も生じやすい臓器です。肝臓の基本的な機能と組織に加え、化学物質に起因する肝細胞の変性・壊死・肥大とその意義について解説します。
第3回 1月28日(土)	肝臓の毒性病理（その2） 肝臓にはマクロファージ系の細胞であるクッパー細胞が存在します。マクロファージ機能を起点とした化学物質の肝毒性の発現機序、そして発癌物質の影響を受けやすい肝臓の増殖性病変（変異肝細胞巣や腫瘍）の組織学的特性について解説します。
第4回 2月4日(土)	腎臓の毒性病理 腎臓の主要な機能は糸球体での濾過と尿細管からの再吸収です。そのために、尿から排泄される化学物質は腎臓に毒作用を示すことがあります。腎臓の基本的な機能と組織に加え、化学物質に起因する糸球体構成細胞の変化と尿細管の変性・壊死、そしてその意義について解説します。
第5回 2月11日(土)	神経系組織の毒性病理 化学物質の神経系組織への影響は、高次機能にダメージを与えることから重篤な毒作用と捉えられています。中枢と末梢の神経系組織を構成する細胞の基本的な特徴に加え、化学物質に起因する神経細胞や髄鞘の毒性変化とその意義について解説します。
第6回 2月18日(土)	心筋、肺、副腎などの毒性病理 化学物質は様々な臓器や組織に影響を与えます。心筋、肺、副腎などの諸臓器における化学物質に起因する重要と思われる変性・壊死などの毒性変化とその意義について解説します。

■お申し込み方法について

* 2022年4月1日より大阪市立大学と大阪府立大学は統合し「大阪公立大学」となりました。

下のURLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、各講座の内容をよくお確かめの上お申し込みください。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

二次元コード



このパンフレットに掲載していない講座もあります。
募集期間になりましたら、順次大学Webサイトに情報を公開します。



- 人類と感染症との戦い ■ ハンナ・アーレント『全体主義の起源』を読み解く
- 健康自己管理セミナー ■ ストレッチング&ウォーキング
- 使える英語力が身につく英語学習法入門講座
- 中国語初級者向けのICTを活用した中国語学習法
- ドイツリートとウィーン音楽文化 ■ 協創研究センター講座
- 学校コラボレーション講座Ⅱ（実践編） ■ 臨床実践に生かす心理アセスメント
- 毒性病理学基礎講座

上記講座のお問い合わせ

電話：072-254-9942

Eメール：gr-shak-ext01@omu.ac.jp

〒599-8531 堺市中区学園町1-1（中百舌鳥キャンパス C5棟）
大阪公立大学 社会連携課
（月～金）9:00～17:30 （土・日・祝日）休み

■ アカデミックカフェ（P10）のお問い合わせ

電話：06-7656-0441

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル
大阪公立大学 I-siteなんば 3階
（月～土）9:00～17:30 （日・祝日）休み

■お申し込み方法について

■ 文化交流センター・野村證券株式会社 共催講座（P6）のお問い合わせ

電話：06-6344-5425

Eメール：gr-shak-bunkou2@omu.ac.jp

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

大阪公立大学文化交流センター

開館時間（月～金）9:45～21:30 （土）9:45～17:30 （日・祝日）休み



大阪駅前



文化交流センター

個人情報について

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。



会場では新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています

I-siteなんば

■交通アクセス



本パンフレットに掲載している
公開講座の会場

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル2階

- 南海「難波駅」下車、なんばパークス方面出口より約800m
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅」下車、⑤出口より約1000m
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅」①B出口より約450m
- 地下鉄御堂筋線/四つ橋線「大国町駅」①出口より約450m

文化交流センター

大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階

- JR東線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- 阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分



中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅」⑤出口から南東へ約1000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車



の講座に関するお問い合わせ
社会連携課（中百舌鳥キャンパス）

Tel 072-254-9942

Fax 072-254-6271

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜 9:00～17:30

の講座に関するお問い合わせ

I-siteなんば

Tel 06-7656-0441

※受付時間：月～土曜 9:00～17:30

の講座に関するお問い合わせ

文化交流センター

Tel 06-6344-5425

Fax 06-6344-5524

E-mail gr-shak-bunkou2@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜 9:45～21:30・土曜 9:45～17:30

大阪公立大学公開講座

検索

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



2022年8月発行